

● 木津川ダム総合管理所 ～水を守り水を生かす木津総管～

I. 高山ダム管理所

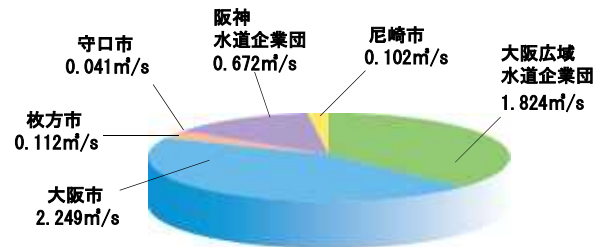


1. 概要

高山ダムは、淀川総合開発計画の一環として、名張川の最下流に建設された多目的ダムで、昭和35年建設省（現国土交通省）で調査所が開設され、昭和37年、水資源開発公団（現水機構）の設立にともない、淀川水系における最初のダム工事として、公団（現水機構）に承継された。昭和40年6月工事に着手、昭和44年8月に完了し、管理業務を開始し現在に至る。

利水供給先

合計 / 5.000 m³/s



2. 管理の目的

◆洪水調節

洪水被害を軽減するため、貯水池への流入量が毎秒1,300立方メートルに達した後に洪水調節を開始し最大毎秒1,800立方メートルを放流する方法により洪水調節を行う。

◆不特定かんがい

木津川沿岸の不特定かんがい等用水として、青蓮寺ダムから補給される量とあわせて確保することができるよう、ダムから補給のため放流を行う。

◆水道用水

阪神地区の水道用水として最大毎秒5.000立方メートルを供給する。

◆発電

関西電力㈱の高山発電所で、最大出力6,000kwの発電を行う。

■高山ダム貯水容量配分図

